

令和7年3月31日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

蘭越町長 金 秀 行

市町村名 (市町村コード)	蘭越町 (13943)
地域名 (地域内農業集落名)	A地区 (立川・昆布・昆布高台・昆布西・黄金・湯里・日出)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

一部、小規模区画や不整形な圃場が点在する等、耕作条件において不利がある。また農業者の高齢化が進行する中、今後は離農者の増加が想定され、地域内における担い手不足の懸念がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内の担い手等による水稻、畑作、露地野菜及び施設野菜等の作付けが行われており、引き続き耕作による農地利用を原則とした農用地の確保に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	414.6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	414.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域計画策定時において、耕作又は農地保全に供される圃場を区域として設定した。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への集積・集約化のため、原則、農地バンクへ貸付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産性の向上のため、用排水路や農道の整理、圃場の大区画化等を目的とした基盤整備事業の実施について、今後、地域内で検討協議する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
蘭越町、蘭越土地改良区、JAようてい、その他関係機関及び地域内農業者団体等との連携を強化し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--

令和7年3月31日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

蘭越町長 金 秀 行

市町村名 (市町村コード)	蘭越町 (13943)
地域名 (地域内農業集落名)	B地区 (蘭越・蘭越上・蘭越東・蘭越下・豊国上・豊国下・栄)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

一部、小規模区画や不整形な圃場が点在する等、耕作条件において不利がある。また農業者の高齢化が進行する中、今後は離農者の増加が想定され、地域内における担い手不足の懸念がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内の担い手等による水稻、畑作、露地野菜及び施設野菜等の作付けが行われており、引き続き耕作による農地利用を原則とした農用地の確保に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	282.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	282.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域計画策定時において、耕作又は農地保全に供される圃場を区域として設定した。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への集積・集約化のため、原則、農地バンクへ貸付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産性の向上のため、用排水路や農道の整理、圃場の大区画化等を目的とした基盤整備事業の実施について、今後、地域内で検討協議する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
蘭越町、蘭越土地改良区、JAようてい、その他関係機関及び地域内農業者団体等との連携を強化し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--

令和7年3月31日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

蘭越町長 金 秀 行

市町村名 (市町村コード)	蘭越町 (13943)
地域名 (地域内農業集落名)	C地区 (水上・大谷上・大谷中・大谷下・淀川上・淀川下)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

一部、小規模区画や不整形な圃場が点在する等、耕作条件において不利がある。また農業者の高齢化が進行する中、今後は離農者の増加が想定され、地域内における担い手不足の懸念がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内の担い手等による水稻、畑作、露地野菜及び施設野菜等の作付けが行われており、引き続き耕作による農地利用を原則とした農用地の確保に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	438.1 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	438.1 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域計画策定時において、耕作又は農地保全に供される圃場を区域として設定した。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への集積・集約化のため、原則、農地バンクへ貸付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産性の向上のため、用排水路や農道の整理、圃場の大区画化等を目的とした基盤整備事業の実施について、今後、地域内で検討協議する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
蘭越町、蘭越土地改良区、JAようてい、その他関係機関及び地域内農業者団体等との連携を強化し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--

令和7年3月31日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

蘭越町長 金 秀 行

市町村名 (市町村コード)	蘭越町 (13943)
地域名 (地域内農業集落名)	D地区 (富岡一・富岡二・旭台・吉国・上里一・三和一・三和二・三和三)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

一部、小規模区画や不整形な圃場が点在する等、耕作条件において不利がある。また農業者の高齢化が進行する中、今後は離農者の増加が想定され、地域内における担い手不足の懸念がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内の担い手等による水稻、畑作、露地野菜及び施設野菜等の作付けが行われており、引き続き耕作による農地利用を原則とした農用地の確保に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	873.5 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	873.5 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域計画策定時において、耕作又は農地保全に供される圃場を区域として設定した。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への集積・集約化のため、原則、農地バンクへ貸付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産性の向上のため、用排水路や農道の整理、圃場の大区画化等を目的とした基盤整備事業の実施について、今後、地域内で検討協議する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
蘭越町、蘭越土地改良区、JAようてい、その他関係機関及び地域内農業者団体等との連携を強化し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--



令和7年3月31日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

蘭越町長 金 秀 行

市町村名 (市町村コード)	蘭越町 (13943)
地域名 (地域内農業集落名)	E地区 (御成三・御成・初田・港一・港二・港三・港四・港五)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

一部、小規模区画や不整形な圃場が点在する等、耕作条件において不利がある。また農業者の高齢化が進行する中、今後は離農者の増加が想定され、地域内における担い手不足の懸念がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内の担い手等による水稻、畑作、露地野菜及び施設野菜等の作付けが行われており、引き続き耕作による農地利用を原則とした農用地の確保に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	469.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	469.4 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域計画策定時において、耕作又は農地保全に供される圃場を区域として設定した。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への集積・集約化のため、原則、農地バンクへ貸付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産性の向上のため、用排水路や農道の整理、圃場の大区画化等を目的とした基盤整備事業の実施について、今後、地域内で検討協議する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
蘭越町、蘭越土地改良区、JAようてい、その他関係機関及び地域内農業者団体等との連携を強化し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--

令和7年3月31日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

蘭越町長 金 秀 行

市町村名 (市町村コード)	蘭越町 (13943)
地域名 (地域内農業集落名)	F地区 (名駒一・名駒二・トンカラ・共栄・清水・鮎川)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

一部、小規模区画や不整形な圃場が点在する等、耕作条件において不利がある。また農業者の高齢化が進行する中、今後は離農者の増加が想定され、地域内における担い手不足の懸念がある。

## (2) 地域における農業の将来の在り方

地域内の担い手等による水稻、畑作、露地野菜及び施設野菜等の作付けが行われており、引き続き耕作による農地利用を原則とした農用地の確保に努める。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	393.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	393.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域計画策定時において、耕作又は農地保全に供される圃場を区域として設定した。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への集積・集約化のため、原則、農地バンクへ貸付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産性の向上のため、用排水路や農道の整理、圃場の大区画化等を目的とした基盤整備事業の実施について、今後、地域内で検討協議する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
蘭越町、蘭越土地改良区、JAようてい、その他関係機関及び地域内農業者団体等との連携を強化し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--

令和7年3月31日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

蘭越町長 金 秀 行

市町村名 (市町村コード)	蘭越町 (13943)
地域名 (地域内農業集落名)	G地区 (三笠・目名・共有地・賀老・相生一・相生二・相生三・貝川・田下一・田下二・讃岐・上目名)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年3月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

一部、小規模区画や不整形な圃場が点在する等、耕作条件において不利がある。また農業者の高齢化が進行する中、今後は離農者の増加が想定され、地域内における担い手不足の懸念がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内の担い手等による水稻、畑作、露地野菜及び施設野菜等の作付けが行われており、引き続き耕作による農地利用を原則とした農用地の確保に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	1,012.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	1,012.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域計画策定時において、耕作又は農地保全に供される圃場を区域として設定した。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への集積・集約化のため、原則、農地バンクへ貸付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業生産性の向上のため、用排水路や農道の整理、圃場の大区画化等を目的とした基盤整備事業の実施について、今後、地域内で検討協議する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
蘭越町、蘭越土地改良区、JAようてい、その他関係機関及び地域内農業者団体等との連携を強化し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--